

県政を身近に! 挑戦!実行!!



香川県議会議員

さといし 明敏の県政報告

第3号 令和7年春

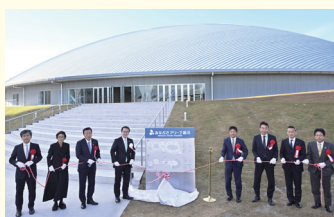
つなぐ

ごあいさつ

今年は巳年で、「再生」や「繁栄」を象徴すると言われております。蛇は脱皮を繰り返しながら成長していくことから、新しい自分に生まれ変わるつもりで、さまざまなことに挑戦し続ける一年にしたいと考えています。

二月二十四日には、県立アリーナがオープンします。私は、平成十六年のサンポートのグラントオープンの際に、職員としてイベント等を担当しており、今回は、県議会議員として、県立アリーナの整備等に関わる特別委員会委員長を務める中、この時を迎えることができ、感慨深く思っています。これまでに開催されなかったイベントも多く予定されておりますが、これを契機に継続的に利用され、また、訪れたくなるアリーナになるように努めてまいります。

また、春からは、瀬戸内国際芸術祭、大阪・関西万博などの開催も重なりますので、飛躍的な発展が期待されます。このような年にあたるからこそ、変化に対応できるよう、日々の努力を惜しまず、皆様とともに成長し続けられるよう努めてまいりたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



除幕式の様子



上空から見た県立アリーナ (香川県提供)

委員会報告 (令和6年度)

文教厚生常任委員会

健康福祉部・教育委員会

問 保育の質の向上について

【里石】 働きやすい職場環境づくりの支援、保育士の業務負担の軽減を進める施策の検討状況は。

【子ども政策推進局長】 2つの新たな事業に取り組んでいる。1つが、登園管理とか保育記録保護者への通知などをデジタル化による、保育士、保護者、事業者の負担を軽減。もう1つは、使用済みの紙おむつの処分について、市町を通じて県と連携して支援し、保育士、保護者、事業者の負担軽減を図る。



問 結婚支援について

【里石】 東京都のマッチングアプリ事業者は、出会い、恋愛の段階に力を入れており、他県と「恋愛及び結婚支援に関する連携協定」を締結している。本県におけるマッチングアプリ事業者との連携は。

加えて、結婚相談所のような民間との連携も含めて、今後の結婚支援事業拡充の取り組みは。

【子ども政策推進局長】 今後、マッチングアプリが社会で認識されていく中、安全に利用するための周知啓発も重要と考え、検討していきたい。

若者や県民の結婚を応援するマッチングアプリ、EN-MUSUかがわ、結婚相談所の3者が手を取り合うことにより、それぞれの強み、弱みをフォローし、どういった連携ができるか、今後検討を進めていきたい。

問 部活動改革について

【里石】 国は、令和5年度から7年度までの3年間を部活動改革推進期間と位置付けているが、県教育委員会として、今後どのように部活動の地域移行を推進していくのか。

【教育長】 令和5年3月に、香川県学校部活動および新たな地域クラブ活動のあり方に関する総合的なガイドラインを作成し、必要な対応等を示した。今後は、県内すべての市町で地域の実情に応じた取り組みが進められるよう、今年の10月ごろを目途に具体的な取り組みや進め方などを記載した手引きを作成し、県内すべての市町が、スムーズに地域移行に進んでいけるよう努めていく。

問 生涯スポーツの取り組みについて



【里石】 健康やレクリエーションを目的とした、誰もが、いつでも、どこでも気軽に参加できる生涯スポーツの振興に向けた取り組み、数値目標は。

【教育長】 県教育基本計画では、「スポーツの振興」を掲げ、生涯スポーツの振興にこれまで努めてきた。具体的には、「県民スポーツ・レクリエーション祭」の開催、「生涯スポーツ指導者養成講座」や「クラブマネージャー養成講習会」等を実施している。

また、子どもたちがさまざまなスポーツを始めるきっかけづくりとなるよう、オリンピック出場選手等に直接、ご指導いただく「かがわドリームスポーツ教室」を開催している。数値目標については、「成人の週1回以上のスポーツ実施率」を設定し、令和元年度は54.9%だった。7年度は65%の達成を目指して進めている。

文教厚生常任委員会

○調査テーマ

- ・少子化対策の推進について
- ・幼児教育の推進について

【県外視察】令和5年7月30日～8月1日

子育てネウボラ(渋谷区)、(株)タッフル(渋谷区)、ゆうゆうのもり幼保園(横浜市)、北方町立北学園(岐阜市)、総文祭パレード(岐阜市)、(株)イマオコーポレーション(関市)、立命館大学(京都市)

ゆうゆうのもり
幼保園▶



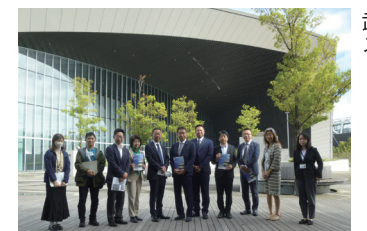
▼北方町立北学園



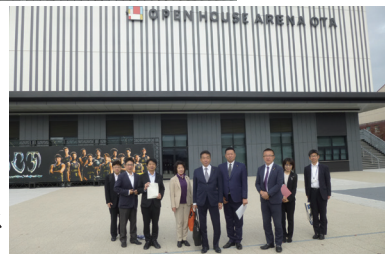
県立アリーナの整備等に関わる特別委員会

【県外視察】令和5年10月28日～30日

高崎アリーナ、Gメッセ群馬(高崎市)、オープンハウスアリーナ太田(太田市)、横浜BUNTAI、横浜武道館(横浜市)、武蔵野の森スポーツプラザ(調布市)



武蔵野の森
スポーツプラザ



オープンハウス
アリーナ太田

皆さまのご意見・ご要望をお待ちしています。

さといし明敏事務所

香川県高松市屋島西町 2285-23 (自宅)

TEL&FAX 087-844-4743

<https://www.satoishi-akitoshi.com>

E-mail satoishikouenkai@gmail.com



里石 高松空港の国際航空ネットワークの維持・拡充について、今後どのように取り組んでいくのか。また、国際線旅客ターミナルビルの増改修の現状は。

1 国際航空ネットワークの拡充

令和6年11月議会 一般質問
2024年12月10日、11月定例議会の一般質問でさとし明敏議員は、国際航空ネットワークの拡充、空き家対策など4項目について、理事者側の見解をいただきました。

び増便を働きかけた結果、高松空港の国際航空ネットワークの利便性は、中四国トップクラスとなつている。2025年3月にタイとのチャーター便が運航予定であり、ベトナムも同時期に実施されるのを機に、タイ、ベトナムの定期路線開設に向けて取り組んでいく。国際線旅客ターミナルビルの増改修は、国際線用搭乗橋の増設に伴い、2026年度中に出発、到着スペースを拡大する予定で、さらなる利便性向上に努めていく。

2 空き家対策の促進

里石 今後、大幅な空

き家の増加が見込まれる中、空き家の除却に向けた市町の取り組みに対して、県はどのような支援を考えているか。

知事 2015年度から老朽危険空き家の除却への補助を開始したが、依然として多く空き家が高い水準で推移しており、各市町に除却のスピードを上げるよう働きかけている。補助対象の拡充については、空き家対策の実施している各市町の意見も聞きながら、補助の見直しも検討していく。空き家をこれ以上増やさないためにも、各市町と連携し、総合的な対策を積極的に進めていく。

3 有害鳥獣対策の強化

里石 イノシシなどの有害鳥獣の捕獲活動の継続における市町に対する支援と、県民に向けての啓発活動について、知事の考えは。

知事 市町で捕獲した

イノシシの処分については、捕獲個体の埋設・運搬、民間施設などでの焼却にかかる国の補助事業を活用するほか、積極的な国の補助事業の情報提供に努めていく。捕獲奨励金は、国の交付金によるイノシシの成獣1頭あたり7千円の交付に加え、市町の負担に応じて、県単独で1頭あたり最大2千5百円を上乗せしている。県民への啓発は、広報誌やホームページのほか、出前講座を実施し、イノシシへの対処方法や通報先などを周知している。引き続き、市町等とも連携し、有害鳥獣対策の強化に取り組む。

4 高松東部地域の道路整備

里石 高松東部地域の幹線道路および県道屋島停車場屋島公園線の整備についての考えは。

知事 高松東部地域の渋滞対策は、幹線道路ネットワーク整備長期ビジョンでも優先度の高い箇所の一つとして位置付け、具体化に向けた調査に積極的に取り組む。高松海岸線は、国や高松市などと連携・協力し、検討を進める。県道屋島停車場屋島公園線は、屋島を周遊する風光明媚な路線の一方、生活道路としても重要な路線であり、屋島西側の浦生漁港や屋島東小学校付近は車道や歩道幅員が狭いことから、高松市や学校、地元関係者と協力しながら待避場や歩道の整備を進める。



里石 庵治石をはじめとする地場産業への販路開拓や事業承継などの支援について、今後どのように進めていくのか。

知事 石材や漆器、うちわなどの伝統的ものづくりを営む地場産業の産地組合などに、地域資源を活用した新商品開発やプロモーション、販路開拓に必要な経費を助成しているほか、県内大型小売店で開催している「かがわの伝統的工芸品フェア」を通して、若者や子どもた



(むれ源平石あかりロード実行委員会提供)

ちに多彩な伝統的工芸品の魅力を発信している。事業承継については、今年度より地場産業を担う確かな技能を有する方を「香川県伝統工芸士」に認定し、技能の保存・伝承に取り組んでいるほか、県事業承継・引継ぎ支援センターと連携して、地場産業が次世代に承継されるように取り組む。

令和6年6月議会 一般質問

2024年7月9日、6月定例議会の一般質問でさとし明敏議員は、地場産業への支援、幹線道路の整備など4項目について、理事者側の見解をいただきました。

1 地場産業への支援

里石 「かがわ総合リハビリテーションセンター」へのこれまでの設備投資の状況と今後の方針について、知事の考えは。

知事 設備投資については、利用者の安全性を最優先に適切なサービスが提供できるよう、緊急性や必要性など優先度の高いものから順次実施しており、今年度は西病棟の冷暖房設備の改修、X線コンピュータ断層撮影装置の更新を予定している。今後は、利用者の高齢化や重度化への対応に加え、重症心身障害児や高次脳機能障害などの患者に専門的な福祉と医療が提供できるよう、安全性の確保や収益性に留意し、計画的な設備投資に努めていく。

2 リハビリテーションセンターの設備投資

3 幹線道路の整備推進

里石 5月に「香川県幹線道路ネットワーク整備長期ビジョン(案)」を策定したが、事業化に向けて知事の考えは。

知事 「香川県幹線道路ネットワーク整備長期ビジョン」の実現にあたっては、渋滞などの課題が生じている路線への対策のみならず、国や県、市町などが分担して整備することで、渋滞の早期解消が図られる。都市計画道路高松海岸線など、幹線道路ネットワークの整備に向けては、早期から複数の道路管理者が連携・協力し、事業区間や事業主体、実施時期を十分に調整し、事業の早期完成、効果発現に努める。

4 コロナ禍の子どもへの影響

里石 コロナ禍での生活によって、子どもた

ちに与えた影響をどのように捉えているか。また、その対策として教育現場での取り組みは。

教育長 コロナ禍以降の不登校児童生徒数の増加や、令和4年度の体力調査結果が過去最低であったことから、コロナ禍の環境が子どもたちの心や体の成長にさまざまな影響を与えたのではないかと受け止めている。県では、不登校対策やスクールカウンセラーの派遣拡充などの児童生徒の心の居場所づくりの推進、体育の授業内容の工夫や外遊びなどによる体力向上対策などに取り組んでいる。

